



菊地雄介さん (田の浜・82歳)

# 「家庭円満」が何より一番

★小さいころの思い出は  
わたしが小さかったころはス  
ルメ漁が盛んで、スルメを干す  
よろい道路がいっぱいでした。  
よろいのすき間を縫うように歩  
いていたことを思い出します。  
★今頑張っていることは  
町からクリーンキーパーに委  
嘱され、毎年五月から十月まで  
船越湾岸の清掃活動や観光客・  
釣り客へごみの持ち帰りの呼び

掛けを行って七年になります。  
最近では、ごみを持ち帰る人も  
少しずつ増えてきました。海を  
守ろうと思う人が増えてくれる  
のは、うれしいことです。  
★元気の秘けつは何ですか  
わたし自身は特に何もしてい  
ませんが、息子のお嫁さんが健  
康に気を使って、減塩料理や野  
菜の多い食事にも関わって  
るのがありがたいですね。  
★好きな言葉は  
「家庭円満」が一番です。子供  
や孫に大事にしてもらっており、  
これ以上の幸せはありません。

## イラスト



★素晴らしい発表会に感激  
船越小学校の学習発表会が十  
一月六日に行われ、わたしも二  
人の孫の演劇を見る機会に恵ま  
れた。孫がまだ保育園でうろ

番屋付近は「鮭まつり」の準備。  
秋空には小旗、名残のある大漁  
旗が掲げられ、一足早いお祭り  
ムードに包まれた川土手を散策  
しました。川面には日が照り映  
え、イルミネーションがきらめ  
いているようで、秋晴れの心  
む午後ひとときでした。  
菊地サカエ (織笠・69歳)

ろしていたころを思い浮かべ、  
この日の成長ぶりに驚いたと同  
時に、はぐくんできていただいた保  
育園や学校の諸先生方のご厚意  
に感謝の念でいっぱいだった。  
プログラム一番の一年生によ  
る言葉あそび「一年生はてんて  
んがすき」の演目では、見てい  
るうちに愛しさのあまり目頭が  
熱くなった。六年生は最後の発  
表会とあって、児童自身や保護  
者は複雑な心境だったに違いな  
い。そして、目のさめるような  
ファイナルの「ヤレンソラー  
ン」で閉会となり、児童から生  
きる希望と勇気ももらい帰途に  
ついた。いまだに児童一人ひと  
りの瞳の輝きと、しぐさのたく  
ましが忘れられない。  
齋藤忠雄 (船越・79歳)

◇◇◇◇◇  
新しき歳の始めに産まれ来る  
曾孫安かれと先祖に祈る  
佐藤美栄子 (大沢・83歳)  
紅葉が小雨にぬれて今朝の空  
佐藤菊實 (荒川・76歳)  
命運か母の愛かな大岩の中  
古藤野強 (豊間根・79歳)  
散歩道虫のなきがら見つけては  
来夏、又ねとそとと葬る  
美智子 (八幡町・?歳)  
冷えた世に大空晴れて「お慶び」  
いく久しくも晴れつぐ日々を  
千代川貞 (大沢・78歳)

# みんなのスペース



きくちろくた くん (第一保育所・6歳)

ぼくのゆめ  
大五さんになって、大きい家  
におじいちゃんとおはあちゃん  
と家族みんなて住みたいな。

## 投書

どんなことでも結構です。  
どしどしお寄せください。

### 早池峰登山道にある鳥居

先日、友人からある新聞を見  
せられた。それには早池峰登山  
の門馬口に鮮やかな緑色の苔に  
覆われた板橋の記事があり、  
「最近の登山コースではめった  
に目にすることがない幻想的な  
光景である」と、北上市の登山  
家の写真が掲載されていた。写  
真には橋と共に鳥居が写ってあ  
り、友人はこの鳥居の由緒につ  
いて説明したかったようだ。  
早池峰山は霊山で、人々は山  
霊を作神・山の神・漁の神とし  
て信仰した。三陸の漁民にとっ  
ては、山の位置で漁場を定める  
「山当り」の中心の山で、豊漁と  
船の安全を守ってくれるお山。  
山田の人たちも厚く信仰した。  
昭和初期に十四人の有志で  
「早池峰登山会」が結成され、昭  
和十二年七月、石造りの鳥居が  
寄付により建立された。鳥居の  
銘板には十八人の名前が刻字さ  
れてある。この登山会員は毎年、



早池峰神社参詣後、志和古稲荷  
社を回り山田に帰っていた。  
現在の登山会員は子孫の方々  
で、上野博義さん、織笠智安さ  
ん、白野悟朗さん、上野貞壽さ  
ん、五十嵐秀一さんの五人。早  
池峰信仰が今も継続されている。  
本町の登山愛好家の皆さんも、  
この幻想的な登山コースに出掛  
けてみてはいかがでしょう。  
木下善三郎 (中央町・75歳)

### 被災地の早い復興を願う

十月二十三日に発生した新潟  
県中越地震は、まだ記憶に新し  
く、皆さんが関心を寄せている  
ことと思います。わたしも微力  
ながらいろいろな所で募金に協  
力させていただきました。十一  
月十五日号の「広報やまだ」には、  
救援活動の取り組みや義援金の  
受け付け状況などが詳しく書か  
れていて、「山田町も温かい心  
の人がたくさんいるんだな」と  
うれしくなりました。わたしは

### 故佐藤善一さんをしのぶ

佐藤善一先生は町長時代にわ  
たしたちの動員先の寮での卒業  
式に来賓され、余興に「勘太郎  
月夜唄」を歌われました。影か  
柳か勘太郎さんか……  
戦中真つただ中、来る日も来  
る日も空襲におびえる毎日でし  
た。美声で朗々と歌われ、わた  
したち女学生の心を和ませてく  
ださいました。在りし日をしの  
び、心よりごめい福をお祈り申  
上げます。  
斉藤ハナ (横浜市・75歳)

### 最漁期で活気づく織笠川

山の紅葉も散り、秋の深まり  
を思わせるこのごろ、閑静な地、  
織笠川もサケの盛漁期で採卵場  
は活気づいて、ほっとしていま  
す。群れでそ上するサケは人を  
引きつけ、道行く人々は足を止  
め見詰めています。